夕刊 磐城新聞
二月十九日發行
價 一部 金五錢 一ケ月 金六十錢（郵稅拾五錢）
廣告料 普通 金六拾錢 特別 金九拾錢 五行十二字詰一行一回（場所指定一行卅錢增）
編輯印刷兼發行人 福島縣石城郡平町田町十六番地 遠藤龍詔
發行所 磐城新聞社 平局私書函第十二號 電話五六四番

超高速度の小說涉獵 七

赤井嶽男輯錄

『素町人』

松田竹の島人作

時は、寬政年間、武士道は全く地に墮ちて、人心は、浮華と輕てうの極にあつた、江戸市中にあつて、ここに一群れ、任俠に生きる男達の街があつた。

任ゝ、俠と、さうして、義と！、命を的に、眞の☆を以て、惡に刃向ふこの男伊達衆の中でも、眞の男伊達、男の中の男一匹と謳はれた白露仙五郎は、由緒ある武士の血を引く身であつたが、その人並すぐれた手腕と、さうして、生來の美貌の故に、榮ある半生を劍難と女難の唯中に送らねばならなかつた。

そのそも　の始まりは……！。

孝女お靜が母讐に、助太刀せんとしたことから始まつた。

○

お吉、お靜の母子は、夫作平が亡くなつてから、漸く、左前になり始めた稼業吳服屋の店を保つてゆかう許りに。惡御家人堀田源兵衛から、百兩といふ金を借りた。

源兵衛は、いまこそ、高利貸の御家人といふ、名こそもつてをれ以前は、作平の庇護のもとに生きてきた男なのだ。

それが、昔の恩義を忘れて、僅か百兩ばかりの金のかたに、美人で、孝心深いお靜を召し使ひ——側室にしようとした。

が、手ぬるい膝づめ談判ではどうにもならないと知つて、當時江戸市中に、男の中の男として、呼聲高かつた白露仙五郎を、最後の談判に差し向けた。

何も知らない仙五郎は、貸した金を返さぬのは、不都合だと本鄕眞砂町の裏店に住むお吉母子を尋ねた、が行つてみて驚いた。

お吉は、頭も上らぬ病人で、貸した金を返せ、といへるやうな、くらしではない。しかも、事情をきいてみると、源兵衛は亡き夫の恩に助かつた人間だといふ……！。

義に生き、俠に勇む男伊達——仙五郎は、奮然として證文を燒き、お吉母子に味方することを誓つた。

が、あくまで、不幸な星の下に生れたお吉母子だつた。娘のお靜が、忠僕の金次と二人明神樣に參詣に行つた留守に、何者とも知れぬ者の手にかかつて病床に臥す母のお吉は、殺されて終つたのだ。

義俠に勇む仙五郎の血は茲に至つて、沸然と滾ぎつた。

がしかし、流石に堀田源兵衛は一筋縄でゆく男ではなかつた。

惡錢を、高利を以て、旗本仲間に貸しつけてゐた彼は、貧乏で弱い者いぢめの惡旗本、鈴木軍十郎を味方につけて、仙五郎一味の首級をねらひ始めた。

軍十郎は、金故に、仙五郎の命をねらふ。だが、淸廉の士は、また同類を以て集まる。

雪の日（童謠詩）

島田忠夫

藥香の
雪おとして
土間へはひる、入るよ

窪ぼとけ
ほのぐ見ゆる
榾あかり、あかりよ

山鳥も
煮てるのか父さん
柴くべて、焚べてよ。

雨の日

原田小太郎

鐵瓶さげて
自在鍵
今日は重たい
朝つから

爐に集つて
話する
裏山にさむい
雨の音

こんろ賣りも
靴ぬいて
爐端の庭に
はべります。

ラヂオ

仙臺 JOHK ……二十日（金曜）……

△七、〇〇 七、三〇B ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、〇五 經濟市況
△九、一〇 ローカル 料理獻立 一、田螺の味噌煎り 二、ウドの甘煮 東北女子職業學校發表
△九、三〇 一〇、二〇A 經濟市況
日用品値段
△一〇、三〇 一一、〇〇 ローカル 家庭講座（三才流盤景に就て）鶴若錦川
△一一、四〇A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五 〇、四〇A 映畫物語（盛り場の大相撲）渡邊一秀
△〇、四〇A 全國ニュース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇 一、、、 經濟市況
△二、〇〇 二、三〇A 家庭大學講座 獨逸文學（古典主義の文學）『第五講』文學博士山岸光宣
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報（積雪量）
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニュース
△五、〇〇 五、三〇 ローカル 緬羊講座（羊と人生に就て）齋藤莊次郎
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇 六、三〇A（子供の時間）少年運動講座（ホッケー テキスト一七ページ）中川新右衛門
△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（初等科 一一）岡倉由三郎
△七、〇〇A 全國ニュース（官廳ニュースを含む）ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項
△七、二五 七、五五A 講演 國寳の話（國寳の建築物に就て）『、（二）』工學博士關野貞
△八、〇〇 八、三〇 ローカル 謠曲（寶生流謠曲鐵輪）坂崎豐治
△八、三〇 九、〇〇A 常磐津（道行戀三度笠 上の卷 梅川忠兵衛）淨瑠璃 常磐津二三松、三代文字
△九、〇〇 九、三八A 義太夫（繪本太功記尼ケ崎の段）竹本素女
△九、四五 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

拈華微笑

請願が採擇された。長く踏み切られぬ樣引續き運動が肝腎

◇

縣に移管は斷然イカンと眞つ黑になつて反對す

◇[illegible]組合

酒消費の減少。別に理屈はない金が無いから

◇

水道人夫の收入と町豫算。足りないの鉢合せ

◇

慰安會以上。貧兒の嬉しい顏を見る愉快サ

◇

けふ『雨水』二十四季の一、立春の次

○——○

——（今月今日）——

△三條實美薨ず（明治二四）△大鹽平八郎兵を起す陽明學に深く中齋と號す窮民を救ひ奸夫を懲らさんとして起ちしも敗る（天保八）△賴春水歿す、藝州竹原の人、その弟には杏坪ありその子には山陽あり其孫には支峰と三樹三郎とあり一門の文學近代の偉觀なり（文化一三）△吉野落城（元弘三）△北白川宮永久王殿下御成年式（昭和五）

講談 元祿名妓傳

小邑井小邑演（宮野恒彦畫）

第二席

妻『夫れで御兩親や目上のお方は……』了『御兩親もなければ、ぢゞ婆ばもない是程氣樂なところはありません』妻『お兄イ樣とか弟御とかはどうでございませうか』了『姉さんが一人おありなさつたが、とうに片付いてもうお子樣もあります、弟御も妹御もなく、お屋敷には用人、若黨、仲間その外女中が二三人、お出でなさるばかり……』妻『夫れは誠に結構なお家ですねへ』六左衛門に引替へて御新造のおらくは、幾らか乘氣である、元來姉娘のおふさは極の內氣な女ではあるが、是迄も屢々あつた縁談、其の中の十九までは殆ど商家でございます、商人の娘が商人の家へ嫁入る是は德川時代の風習で、おの〲その分を守ると去ふところから出たものでございませう、然るに其の商人からの縁談は、悉くおふさが好かぬ顏をする、其娘の心をくんで、いやな顏をすれば、すぐに斷りを立ます多くの縁談が商人からで商人を嫌ふのだから畢竟十九になつても、まだ家に居る只今では二〇歳を越さなければ、嫁入盛りにはならない樣な世相ですが、德川時代は十六七が嫁入の最盛期でありました、尤も娘達が花と云れるのは、どうしても二十歳前の樣に存じま[illegible]花の盛りは十六七……是れは只今でも變らないがよめ入り盛りだけは違つて參りました、併し世の中の變化は昔の通りでないから、致し方がない。餘事は措いて六左衛門の妻のおらくは娘おふさの望むところは、武家だらうと推察して居ります、與力同心と一口に申しますが、同心は兎も角も與力は仲々どうして立派なものでございました、町奉行の下に與力は二十五人、同心が百二十五人、南北の町奉行を合しても與力と云ふ役目は只五十人しかない、江戸市中に五十人しかない程の役目、無論やり一筋の家柄でございます、左すれば道中をするにもやり持がついて、やりを立てあるく程な家柄、中々馬鹿には出來ません、殊には士農工商と云つて武士が四民の一番上に立つと定まつた世の中餘程のことでなくては、町人からよめを入れると云ふことはないのでございます其處で何れ相談をしてと云つて滿月了賀を歸し、跡で夫婦が相談を始めました、六左衛門もおらくから、娘の思惑を聞いては只あまり進まぬだけの事で、押切つて與力などへ呉れはせぬとも申しません、おふさの歸りを待つて、其の心を聞いて見ると、母親が考へた通り、此の縁談には餘りいやな顏をしない、其の內に滿月了賀も度々足を運び、見合と迄漕ぎ付け、兩方からで寺へ出張つて見合も濟みました。妻『おふさ、なか〲立派なお方だわねへ、お前どうするつもり……』房『私は何れでも宜しうございます、御兩親さまのよい樣に……』妻『跡で彼是云つては困る、夫れぢやァゆひ納の取交せをしますよ！』と是から媒酌の了賀を呼び、六左衛門が六『段々御苦勞を下すつたが娘も敢て異存はない樣だ、併し彼は十九で年廻りが惡いどうせのびたものだから、婚禮は來年にして貰ひたい、夫れで宜しければ、ゆひ納だけは取交して置いて好い』了『御尤も千萬、寺尾樣の方ではお急ぎにはなりますが、併し厄年に是非婚禮をしなくてはならぬ筈もありません、其邊は手前が充分お話を遂げます、ゆひ納は此處で取交せ、式だけは一年のばすが宜しうございませう、夫では……』了賀が八丁堀へ飛んで、寺尾彌左衛門に其の由を語る、彌左衛門も夫に異存はなく、はなしは以外に進んでゆひ納の取交せを終りました。そも〲此ゆひ納取交せと云ことが間違ひの種おふさは世の辛酸をなめ盡して、遂に吉原へその身を沈め、花あふぎ太夫となるのでございますが、其の發端は實に此のゆひ納取交せにあるので……。

時代警句（石漱）

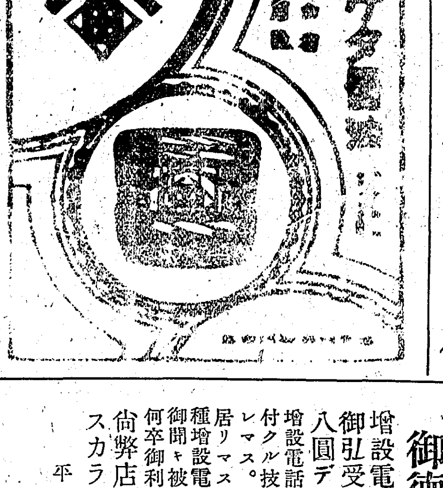
○誠實だらうが熱心だらうが自分の出來合の奴を胸に畜へてゐるんぢやなくて石と鐵と觸れて火花の出るやうに相手次第で摩擦の具合さへうまく行けば當事者二人の前に起るべき現象である、自分の有する性質と云ふよりは寧ろ精神の交渉作用である、だから相手が惡くては起りようがない……（それから）

時計職見習生募集 十四五才ヨリ 詳細面談 要保證人
平町 精幸堂

例景品付大賣出し
平素の御引立に報ゆるため格安品を豐富に取揃へ、御奉仕大提供！
舊正月二日、三日、四日の三日間
ふかや洋服店

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

森下の年始大賣出
販賣商品ハ絕對優良安價品！特ニ學生カバン類ハ製造元ヨリ直接入量ニ仕入シ爲メ市價ヨリ約三割安ニ御願ヒ申上ゲラレマス。
一男女學生カバン 特等品 金廿五錢ヨリ
一男女學生用手提 特等品 金五十錢ヨリ
一牛皮製ランドセル 特等品 金貳圓廿錢ヨリ
一カテイカメラ 一揃 金五十錢ヨリ
一太毛糸一オンス 金十一錢ヨリ
一其他何品ニヨラズ此際利益度外ノ大格安賣
◎吉例ニヨリ大景品差上いたします
平町一丁目 森下商店


特約店 平町田町 廣瀨支店 電話五四番

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科 外科專門
平南町 上田醫院 病室完備（電話一二九）

專門 一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス 呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士 川井重之 女醫 川井安子

貸切自動車の御用命は……
尼子タクシーへ
新型セダンで乘心地の良い
尼子タクシー 電六四〇番
主任 澤正路

毛糸！
國產優等毛糸 一オンス 十一錢
國產中細毛糸 一オンス 十三錢
國產極細毛糸 一オンス 十四錢
國產霜糸降毛 一オンス 十五錢
編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ御間ニ合セ致シマス
平町田町 ハシモトヤ糸店

御徳用ナ増設電話（取付け方）
増設電話ノ取付ケ維持一切ヲ弊店デ御引受ケ致シマスト電話料金は年額八圓デ濟シマス。
増設電話ハ御使用ナサル電話機ト交換器トヲ取付クル技術トガ三拍子揃ツテ始メテ良結果ガ得ラレマス。此ノ點デ弊店ガ自信ヲ以テ御引受ケシテ居リマスコトハ最近取付ケマシ、片倉製糸場內ノ甲種增設電話七十七銀行平支店殿ノ乙種增設電話ヲ御聞キ被下バ御分リニナルコトト存ジマス。何卒御利用被下樣御勸メ致シマス。
尙弊店ハ電話賣買ノ御取次モ致シマスカラ宜敷御利用願上マス。
遞信局公認 平町白銀九（電話四二八）
日東商會 長島菊苗

診察無料
如何ナル重患デモナオス本院デ特ニ今般
眼鏡科の改良ヲイタシ
檢眼無料デ確實ニ檢定シ
ドンナ眼鏡デモ卽座ニ間ニ合セマス非常ニ
便利ニナリマシタ是非御用命ヲ希イマス
博士敬白
平三 大谷時計病院 眼鏡科 電話十九番

平驛東部踏切り
改修の請願採擇さる
地下道か斜坂の跨線橋乎?
但し決定と早呑込みは禁物

平驛東部踏切りは平町より好間、平窪、神谷の一部に通ずる交通上の要衝に當り人馬の往復極めて頻繁なるに拘らず驛構內の踏切りなる為め貨車入れ替や其他により遮斷機の開閉一晝夜二百回以上に達する事珍らしからず而も往々百二十輛內外の貨車を分割して入れ替えを行ふ場合等之によつて交通の杜絶を來す事長きは一回卅分餘に及ぶ事あり老幼或は車馬等を除く外は已むなく昇降極めて困難煩雜なる跨線橋によるとするも一般交通の敏活を阻む事極めて大なるものあるので此間の改善に就ては從來屢々諸種の劃策が行はれたが同踏切りの改善は將來平小鐵の開通と共にその位置等に就て或は之れを變更する場合を顧慮するの結果かあらぬか容易に改善の目鼻が着かず依然甚しい不便を忍んで今日に至つたが同所は啻に前記の如く交通の要衝に當つてゐるばかりでなく所謂鐵北の仲間町方面には昨年四月より最近迄數十戸の家屋が新築されたる等同方部の發展も日と共に旺んなるものあり彼此地下道によるか斜坂の跨線橋によるか何れにせよ該踏切りの改善は今や一日も忽諸に附すべからざる物あるので去月中地元選出代議士及根本橋本兩上院議員等應援の下に伏見町長以下好間、平窪、神谷の關係各村長連署の上その改修方を議會に請願する處あつたが右請願は昨十八日衆議院請願分科會で滿場一致採擇と決定地元住民は大喜びである、因に請願は採擇されて政府に送られても閣議の審査事項となる丈けで法律上政治上政府に對する何の拘束力も持つてゐないので請願の主旨が實現する樣な場合は餘り多くないが常であるから最後迄奮闘を必要とする事勿論であると

經費の增大から 縣移管に反對
濱三郡木炭同業組合 けふ評議員會で決議

濱三郡木炭同業組合では今十九日午前十時から平事務所で評議員會を開催昭和六年度豫算原案一萬八千七百七圓を協議したが前年度より二千九百圓の減で右は事業費事務費を減じた結果である尙ほ從來の木炭生產檢查料は一俵につき二厘五毛であつたのを二厘にし移出檢查料一錢を八厘に値下げする件は評議員全部異議なく承認した、更に問題となつてゐる木炭檢查の縣移管に就ては

一、縣移管になれば檢查料が三錢低度に引上げらる事

二、縣では濱三郡の檢查員十名を五名內外に減ずる方針であるから不便になる

の理由に基き反對の態度をとる事に決定した

神谷村會

神谷村では來る二十五日村會を開き昭和六年度の豫算と四年度の決算を付議する筈であるが總豫算高は二萬三千二百圓で前年度に比して一千九百七十圓の減である、尙は同村では收入役神谷龜松氏が病氣の為め去月十七日辭職欠員中のところ過般の村會に於て同役場書記鈴木爲次郎氏が滿場一致推薦された

教育講演會

郡教育會小名濱町湯本町を中心とする第二區方部では例年の通り舊正月の時期を以て通俗講演會を開くことゝなつてゐるが本年は作山美八氏を聘して來月十日から五日間區內小名濱町、江名町をと順次開催することに決定目下作山氏と交渉中である

石城地方一圓に亘り 酒の消費高激減
例の消費節約强調こ 舊正の關係(平稅務署調査統計)

石城郡に於ける酒消費量に就て平稅務署の調査した處に依ると一月中の新酒八十七石、昨年十月より十二月迄三ヶ月間合計八百三十七石古酒一月中千百七十九石十月以降十二月迄合計五千五十七石で前年一月中の新酒九十八石、十月以降十二月迄九百七十四石、古酒一月中千三百七十二石、三ヶ月間合計六千八十二石で本年度は前年度に比べ古酒千二百十八石、新酒百四十八石の大減少を示してゐる、之は緊縮が宣傳された結果と本年一月は舊正月に當らなかつたためであらうと

乘降者激減
昨日の平驛

平驛昨舊二日の乘降人員を聞くに乘車三千二十名昨年より五百三十一名降車が二千九百七十二名で一千四百四十九名の何れも減である

巧妙なメリヤス機で 特許權を獲得す
隱れた發明家 平町の坂本兼治郎氏

平町大町三十一番地坂本兼治郎氏は永らく苦心の末發明した『手袋メリヤス編製機』に對し昨春來その筋に特許出願中であつたがこの程首尾克く特許權を得た本發明の目的とする處は從來の手袋編製操作に於ける如く編針各個の動作位置より不動作移置にせしむる手數を要せず對應床部分と共に所要編針數を任意動作位置に出入せしめてその儘編製作業を續行し得ることに依り生產を增進し操作簡便にして在來の熟練を要することなく手袋の編成を可能ならしめんとする事に在ると

投稿 寄書歡迎
世の未婚者よ

◇結婚といふことはたつた一つしかない生命をお互同志が許し合ふことだつまり魂と魂とが溶け合つてそこに花咲くことであり、精神的結合によつて若い者同志が新生活への第一歩を踏み出すことだ、性的物々交換でないこと勿論である

◇偕老同穴といふ意味もそこから來てゐるのだ、この語義から考へると昔は相當結婚問題については自由であつたらしい、所がさうした本當の結婚が百に一つ若しくは千に一つあるだらうか、これから桃の花の咲く頃まで町といはず在方といはずこうした婚禮悲劇が數多くあることだらう、が若し婚禮の三々九度の盃最中大地震でもゆれて見るがいゝ、その場合婿は婿、嫁は嫁で、てんでに自分勝ちに逃げ出すこと請合である其の意味の偕老同穴から來た結婚でないからだ

◇夕べもあつた、この次の大安日とかいふ日にもソチコチに結婚式がある相だと、よく考へて見ると仲人が嘘で固めた取持ちである上にホンノ二分や三分の見合といふもので相手の全部が判るものではない、さうした犬猫を貰ふより簡單な結婚をするのに日を選ぶことすら旣に馬鹿氣切つてゐるこの意味に於て仲人といふものは花嫁と名のつく人身御供を捧げる爲めに存在してゐる。女郎屋の遣り手婆見たいなものだ

◇可愛相なものだ、昔蓮華往生と云ふものがあつて死を希ふものから大金をまき上げて亡者を蓮華臺に乘せ坊主共がその周圍で鉦太鼓で大騷ぎをしてゐる隙に下から槍で突き殺す樣に仕組んで金を儲けたとの事で後人が今尙ほその惡辣さを憎んでゐる、然るに前者の場合にはそれが大なる道德の權化でもあるかの如く許してあるに至つては人道上からいつても大いに考へ直して見る必要はありはしないか、世の未婚者よ婦選獲得よりも何よりも、まず悲しい哉今尙石城地方などで行はれつゝある結婚風習を根本的に吟味して見る必要はありはしませんか(戀愛至上主義者)

鐵道倶樂部員の義擧
百餘の貧兒を潤はす
生きた百圓の現金で 衣類や雨傘等を贈る

平鐵道倶樂部員が慰安會費を節約し在平貧困兒童救濟資金として提供した一百圓の處分方法に就ては役場學務委員が三小學校長と懇談の結果時節柄衣類を最良の贈物として給與する事となり第一三十名、第二二十四名、第三五十三名、計百七名に足袋、シャツ一枚宛をまた一部少數の者には雨傘の支給をなしたが父兄中には學校當局に眞實凝めた禮狀を寄せたものもあり非常に喜ばれてゐる

豫算運用の關係から 愼重考慮を要す
水道從業員の要求に對して 大事をとる町理事者

旣報平町上水道擴張工事に從事中の失業登錄者八十餘名がこの程勞銀値上その他數項に亘り伏見町長に對して歎願書を出した待遇改善の問題は該水道工事たるや數年來の懸案たりし事業計劃の實施が適々失業洪水の時機に際會してその起工を見るに至つた關係上失業救濟を加味して其間の善處を期しつゝあるに止まり失業救濟を根本の目的として起工されたる所謂失業救濟事業に非ざるを以て自ら豫算の拘束あり事業遂行の前には終始勞働者の希望のみを充たし得ぬ場合ある關係上最初から歎願者の目標と町當局の方針との間に可なり見解の相違あり旁々今後問題の推移に就ては相當の曲折を免かれぬものと見らるゝ節あり果して如何なる處にその歸趨を見るや混沌測り知るべからざるものあるが右に就て伏見町長は語る

——未だ代表者に會見して居らぬので內容が解らぬばかりでなく之の種の問題に就ては理事者のみに於て獨斷專行する事が出來ず差當り委員會(町議全員)の決議に俟たねばならぬので詳細は申上げられぬが問題の核心をなしてゐる勞銀値上げの件は目下の處では八十錢でも尙ほ澤山の希望者あるに反して今後農繁季に於ては一圓でも所期の勞力を求められまいと云ふ樣な關係もあり申出の希望は大に之れを諒とするも其間豫算の經理等に就て愼重細心の考慮を拂はねばならぬと思つてゐる云々

金儲け內しよ話 (8)
死人のやけだものゝ毛は変らぬ
裏から覗いたかもじ屋さん 中

◇これは製造元が値段を動かさぬからではない、小賣屋が勝手に『かもじ』の値段をこしらへて居るのだ、そんなら小賣屋が、どれ程儲けてゐるかを說明するために、原料と製造原價を公開しやう

◇かもじの原料は、髮結さんから買ひ集める拔毛の外に、支那や朝鮮から輸入されるのが少くない、丸めたまゝの拔毛を洗つて染めたものを揚地と云ひ、これを延ばして揃へたのを引地と申す。引地のうちで一番長いのを一引といひ次が三引、三引を擇り出した後の毛を揃へたのが四毛である

◇に十倍の儲け◇

然らばその揚地、引地、四の相場は幾何なりや、これは長短に依つて異り揚地一貫目は四十錢前後、引地は一引で八十錢前後、三引で三十錢前後、四毛で二十錢見當である。島田の根『かもじ』でも五十匁と云へば極大の方だが、最上の一引を使つても四錢、これに用ひる桐コマや縮緬のやうな附屬品代と工賃十錢を加へたものが原價で十四錢だそれを小賣店では一圓五十錢とはどうだ!どうだ!正

『毛は黑きを以て貴しとせず、長きを以て良しとなす!』ペン／＼……ビワ唄ぢやない、眞實。黑いは、自慢にアならぬ、黑髮が引地の上物で一貫目二十圓から二十五圓前後の時には白髮が八十圓から百圓、胡麻鹽が五十圓からした、但しこれは『かづら』に使はれるものだが、長い毛髮は文明人の頭には宿らない、だから上等かもじの原料產地は我等の福島縣から宮城、岩手山形、秋田と北漸して北海道遜が良く、東京や大阪あたりの拔毛は、安ものの原料にしかならない。そこへ行くと支那、朝鮮ものは概して良存だ、頭髮が腦味噌保護のために出來てるものなら、上等の腦味噌に多く長く下等な腦味噌に短く少くてよい理窟だが、實際はそれがアべっべに行つてるから皮肉だ。斯うして見ると『解かば丈にも餘らん』黑髮の持主なんどは、下等な腦味噌の所有者で餘り自慢にもならない話し——怒りなさんな。毛が拔ける。

貸切りを出せ
幅を利かせた醉漢 大目玉を頂戴す

赤井村筒井炭礦坑夫高橋幸太郎(三八)は昨十八日午前十時頃平町才槌小路菊地自動車店前で泥醉の上通行人に亂暴をなしその足で菊地自動車店に這ひ込み赤井行の貸切りを出せと暴行中平署員に連行され大目玉を頂戴放還された

逃げた客
湯治場から告訴

箕村大字大利字白井渡邊伊智(三一)は舊臘四日午前十時頃同村大字高野字柴平三六旅館兼鑛泉湯場渡邊タキ方に宿泊し九日分宿泊料六圓五十三錢を踏倒し十二日逃走したので今十九日タキから平署へ訴へ出づ

數年前の 家根代紛爭
終に警察沙汰に

平町下河原セメント瓦製造業根本毅一は平町三丁目岩本朝吉の依賴により大正十四年十二月中南町六四番地所在家屋の屋根を修築しその代金七十圓を再三再四請求したが朝吉はその都度言を左右に托して支拂はず今年一月中旬右家屋を他に賣拂つたので毅一は憤慨し詐欺として今十九日平署に訴へ出た

赤井風

◇平の藝者も漸く時代に目覺めて花見の客を嬉しがらせる方法に就て硏究を始めたのは、時節柄結構なことだ處が中には斷然尖端を切つてレビユー・ダンスをやりたいなんてお茶ッピーもある◇ワンピースの赤いズロヽスで平を赤化させようと云ふのだから物凄い、頭も斷髮よ、どうせ亂で弱つてるんだからは汚ねえな◇古い方は踊りはヤッパリ長唄物に限ると云へば、其中を行く新舞踊が現代的だわと主張するのもあり、赤い唇を舐して喋々してる『なあに、ダンスなんて汚い川の運續よ』と喰つてるのもある。

平町人事

△出生 白銀町三八田村郡移村大字北移字雁萬作一三八橋本富三三女ミヨ

△婚姻 東京在原郡蒲田町大字廿塚二一八二橋本末藏(三二) 平町長橋町四五近內ワカ(二五)

△死亡 月見町二七田村郡大字栃木字市殼一五〇丹谷ミワ子

廣告

前田醫院
院長 前田淸美
植田町電話一二四

御錦地初御目見得
東京大歌舞伎
中村竹の子
中村竹右衛門
當る二月二十日午後五時より
入場料 大人二十錢 小人十錢
聚樂館

文部大臣認可
平陽女學校入學案內
募集人員
本科 二ヶ年卒業 五十名
師範科 二ヶ年卒業 五十名
技藝高等科 二ヶ年卒業 五十名
全速成科 一ヶ年卒業 三十名
全專攻科 一ヶ年卒業 二十名
右各科共入學ヲ許シマス希望者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄ニ本校宛提出シテ下サイ
入學願書ハ本校宛申越下サレバ差上マス
福島縣平町 平陽女學校 電話四四五番

平町田町 **高久病院** (電話五一・二番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

合戸 澤渡 乘合開通
二月一日ヨリ
平發 午前六時 十一時 午後四時半
下市萱發 午前八時半 午後一時半 六時
料金片道(八〇錢) 當分ノ內
發着所 三好間軌道 井自動車部
電四二三・六八五

貸切は●●● セダン揃ひで! 乘心地のよい!
昭和タクシーへ
電話三四三(サシミ)

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 專門
平町南町 **大和田醫院** (電一七〇番)
自炊の便あり
大和田郡司